

表 1. 岐阜市民病院内科専門研修施設群研修施設

	病院	病床数	内科系 病床数	内科系 診療科数	内科 指導医数	総合内科 専門医数	内科 剖検数
基幹施設	岐阜市民病院	565	229	8	33	25	10
連携施設	岐阜大学医学部附属病院	606	165	5	39	34	24
連携施設	岐阜県総合医療センター	590	209	10	26	15	10
連携施設	岐阜赤十字病院	311	120	10	8	5	1
連携施設	高山赤十字病院	476	171	4	7	5	10
連携施設	羽島市民病院	281	129	7	9	4	2
連携施設	大垣徳洲会病院	283	50	5	0	0	0
連携施設	下呂温泉病院	206	206	6	2	2	1
連携施設	長良医療センター	468	120	4	5	3	0
連携施設	中濃厚生病院	495	189	11	17	9	1
連携施設	河村病院	315	230	8	4	4	11
連携施設	美濃病院	122	122	1	3	2	0
連携施設	愛知医科大学附属病院	893	276	10	68	29	14
連携施設	国立国際医療研究センター 一病院	781		18	58	23	40
連携施設	木沢記念病院	451	141	8	13	9	8
連携施設	多治見市民病院	250	128	9	9	6	0
連携施設	岐阜西濃医療センター 西美濃厚生病院	315		1	1	3	0
連携施設	郡上市民病院	150		2	2		0
連携施設	松波総合病院	501	240	10	29	28	32
連携施設	揖斐厚生病院	281	135	2	7	5	1
連携施設	岐北厚生病院	316	221	8	7	5	0
連携施設	大垣市民病院	903	296	7	22	16	6
連携施設	藤田医科大学病院	1435	378	13	55	54	18
連携施設	下呂市立金山病院	99		1	2	2	0
特別連携 施設	岐阜清流病院	372	123	7	0	4	0
特別連携 施設	澤田病院	229	200	5	2	4	0
特別連携 施設	まつなみ健康増進クリニ ック	0	0		0	0	0

表 2. 各内科専門研修施設の内科 13 領域の研修の可能性

病院	総合内科	消化器	循環器	内分泌	代謝	腎臓	呼吸器	血液	神経	アレルギー	膠原病	感染症	救急
岐阜市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜大学医学部附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜県総合医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岐阜赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高山赤十字病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羽島市民病院	○	○	○	○	○	○	○	×	○	△	○	△	△
大垣徳洲会病院	△	○	○	△	△	○	△	×	△	△	×	×	△
下呂温泉病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長良医療センター	△	△	○	△	△	×	○	×	△	○	○	○	△
中濃厚生病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河村病院	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△
美濃病院	○	○	○	○	○	△	△	×	△	△	△	△	△
愛知医科大学附属病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国立国際医療研究センター病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木沢記念病院	○	○	○	△	△	△	○	△	△	○	○	△	○
多治見市民病院	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○
岐阜西濃医療センター 西美濃厚生病院	○	○	○	△	△	○	○	○	△	△	△	○	○
郡上市民病院	○	○	○	△	△	△	○	×	△	×	×	○	○
松波総合病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
揖斐厚生病院	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△	○	○
岐北厚生病院	△	○	○	△	△	○	○	○	△	△	△	○	○
大垣市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○
藤田医科大学病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下呂市立金山病院	○	△	△	○	○	△	△	×	△	△	△	△	○
岐阜清流病院	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
澤田病院	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×
まっなみ健康増進クリニック	△	△	△	△	△	△	△	△	×	△	△	×	×

各研修施設での内科 13 領域における診療経験の研修可能性を 3 段階（○，△，×）に評価しました。

（○：研修できる，△：時に経験できる，×：ほとんど経験できない）

1) 専門研修基幹施設

岐阜市民病院

<p>認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・岐阜市正職員または非常勤嘱託員として勤務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署(岐阜市役所職員厚生課)があります。 ・ハラスメント委員会が岐阜市役所に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
<p>認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合内科専門医が 25 名在籍しています(下記)。 ・内科専門研修プログラム管理部会(統括責任者(診療科部長)、統括副責任者(診療科部長)(ともに総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会(部会)との連携を図ります。 ・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修部会と内科専門研修プログラム管理委員会を設置します。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催(2020 年度実績 3 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催(2020 年度予定)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催(2020 年度実績 11 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス(市民公開講座; 2019 年度実績 11 回)を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査に内科専門研修プログラム管理委員会が対応します。
<p>認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域 13 分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。 ・70 疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます(上記)。 ・専門研修に必要な剖検(2017 年度 17 体, 2018 年度 11 体, 2019 年度 11 体, 2020 年度 10 体)を行っています。
<p>認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究に必要な図書室を整備しています。 ・倫理審査委員会を設置し、定期的に開催(2019 年度実績 1 回)しています。 ・治験管理センターを設置し、定期的に受託研究審査会を開催(2019 年度実績 12 回)しています。 ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 2 演題以上の学会発表(2019 年実績 2 演題)をしています。
<p>指導責任者</p>	<p>杉山 昭彦</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>岐阜市民病院は、岐阜県岐阜医療圏の中心的な急性期病院であり、岐阜医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。</p> <p>主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。</p>
<p>指導医数 (常勤医)</p>	<p>日本内科学会指導医 33 名, 日本内科学会総合内科専門医 25 名, 日本消化器病学会消化器専門医 14 名, 日本循環器学会循環器専門医 9 名, 日本糖尿病学会専門医 5 名, 日本腎臓病学会専門医 2 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 6 名, 日本血液学会血液専門医 5 名, 日本神経学会神経内科専門医 3 名, 日本リウマチ学会専門医 4 名, 日本肝臓病学会専門医 9 名, 日本救急医学会救急科専門医 1 名, 日本内分泌学会専門医 1 名, 日本老年医学会専門医 2 名 ほか</p>
<p>外来・入院患者数</p>	<p>外来患者 26,167 名(1ヶ月平均) 入院患者 13,219 名(1ヶ月平均)</p>
<p>経験できる疾患群</p>	<p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある 13 領域, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>
<p>経験できる技術・技能</p>	<p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。</p>

経験できる地域医療・診療連携	急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。
学会認定施設 (内科系)	日本糖尿病学会認定教育施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本内分泌学会認定教育施設、日本内科学会認定医制度教育病院、日本リウマチ学会教育施設、日本東洋医学会研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設、日本透析医学会教育関連施設、日本腎臓学会研修施設、日本神経学会准教育施設、日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設、日本胆道学会認定指導施設、日本消化管学会胃腸科指導施設、日本カプセル内視鏡学会認定指導施設、日本血液学会血液研修施設、日本輸血・細胞治療学会認定・臨床輸血看護師制度指定研修施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本緩和医療学会認定研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設

2) 専門研修連携施設

1. 岐阜大学医学部附属病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2014年度実績 医療倫理1回、医療安全1回、感染対策2回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2014年度実績 24回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014年度実績約 20 演題）をしています。
指導責任者	白木 亮
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 39 名、日本内科学会総合内科専門医 34 名、日本消化器病学会消化器専門医 11 名、日本循環器学会循環器専門医 9 名、日本内分泌学会専門医 5 名、日本糖尿病学会専門医 13 名、日本腎臓学会腎臓専門医 2 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名、日本血液学会血液専門医 4 名、日本神経学会神経内科専門医 3 名、日本アレルギー学会専門医（内科）1 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 3 名、日本感染症学会専門医 1 名、日本老年医学会専門医 2 名、日本肝臓病学会専門医 9 名、ほか
外来・入院患者数	外来患者 731 名（1ヶ月平均） 入院患者 383 名（1ヶ月平均）
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定制度教育病院、日本消化器病学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本腎臓病学会研修施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本老年医学会認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設、日本透析医学会認定医制度認定施設、日本血液学会認定研修施設、日本大腸肛門病学会専門医修練施設、日本内分泌甲状腺外科学会認定医専門医施設、日本神経学会専門医制度認定教育施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本神経学会専門医研修施設、日本内科学会認定専門医研修施設、

	日本老年医学会教育研修施設，日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設，日本東洋医学会研修施設，日本臨床腫瘍学会認定研修施設，日本感染症学会認定研修施設，日本がん治療認定医機構認定研修施設，日本高血圧学会高血圧専門医認定施設，ステントグラフト実施施設，日本緩和医療学会専門医認定制度認定研修施設，日本認知症学会教育施設，日本心血管インターベンション治療学会研修施設
--	--

2. 岐阜県総合医療センター

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように，休憩室，更衣室，仮眠室，シャワー室，当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して，施設内で研修する専攻医の研修を管理し，基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 2 回，医療安全 16 回，感染対策 17 回）し，専攻医に受講を義務付け，そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し，専攻医に受講を義務付け，そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 10 回）し，専攻医に受講を義務付け，そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 165 回）を定期的開催し，専攻医に受講を義務付け，そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科，消化器，循環器，内分泌，代謝，腎臓，呼吸器，血液，神経，アレルギー，膠原病，感染症および救急の全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 3 演題）をしています。
指導責任者	安藤 鴨洋
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 30 名，日本内科学会総合内科専門医 16 名，日本消化器病学会消化器専門医 7 名，日本循環器学会循環器専門医 11 名，日本内分泌学会専門医 1 名，日本糖尿病学会専門医 3 名，日本腎臓病学会専門医 4 名，日本呼吸器学会呼吸器専門医 4 名，日本血液学会血液専門医 1 名，日本神経学会神経内科専門医 4 名，日本リウマチ学会専門医 1 名，日本感染症学会専門医 1 名，日本救急医学会救急科専門医 2 名，ほか
外来・入院患者数	外来患者 27,427 名 (1ヶ月平均) 入院患者 1,226 名 (1ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて，研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域，65 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を，実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定制度教育病院，日本消化器病学会認定施設，日本呼吸器学会認定施設，日本糖尿病学会認定教育施設，日本腎臓病学会研修施設，日本アレルギー学会認定教育施設，日本消化器内視鏡学会認定指導施設，日本循環器学会認定循環器専門医研修施設，日本老年医学会認定施設，日本肝臓学会認定施設，日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設，日本透析医学会認定医制度認定施設，日本血液学会認定研修施設，日本大腸肛門病学会専門医修練施設，日本内分泌甲状腺外科学会認定医専門医施設，日本神経学会専門医制度認定教育施設，日本脳卒中学会認定研修教育病院，日本呼吸器内視鏡学会認定施設，日本神経学会専門医研修施設，日本内科学会認定専門医研修施設，日本老年医学会教育研修施設，日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設，日本東洋医学会研修施設，ICD/両室ペースティング植え込み認定施設，日本臨床腫瘍学会認定研修施設，日本肥満学会認定肥満症専門病院，日本感染症学会認定研修施設，日本がん治療認定医機構認定研修施設，日本高血圧学会高血圧専門医認定施設，ステントグラフト実施施設，日本緩和医療学会専門医認定制度認定研修施設，日本認知症学会教育施設，日本心血管インターベンション治療学会研修施設

3. 岐阜赤十字病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室シャワー室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 0 回、医療安全 8 回、感染対策 5 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 1 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 10 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 3 演題）をしています。
指導責任者	石森 正敏
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 8 名、日本内科学会総合内科専門医 6 名、日本消化器病学会消化器専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 2 名、日本内分泌学会専門医 3 名、日本糖尿病学会専門医 4 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 5,334 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 146 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域、66 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本甲状腺学会認定専門医施設、日本内科学会認定医教育関連病院、日本血液学会認定血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設、日本感染症学会研修施設、日本病院総合診療医学会認定施設

4. 高山赤十字病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 20 回、感染対策 6 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 5 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 15 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎

【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 5 演題）をしています。
指導責任者	福野 賢二
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 7 名、日本内科学会総合内科専門医 5 名、 日本消化器病学会消化器専門医 3 名、日本内分泌学会専門医 2 名、 日本糖尿病学会専門医 2 名、日本血液学会血液専門医 1 名、 日本救急医学会救急科専門医 2 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 3,995 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 298 名 (1 ヶ月平均延数)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定制度関連病院、日本消化器病学会認定関連施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本肝臓学会認定施設、日本血液学会認定研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本内科学会認定専門医研修施設、日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設

5. 羽島市民病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2014 年度実績 医療安全 2 回、感染対策 3 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2014 年度実績 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 12 回）を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、血液を除く、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 1 演題）をしています。
指導責任者	酒井 勉
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 9 名、日本内科学会総合内科専門医 4 名、日本消化器病学会消化器専門医 4 名、日本循環器学会循環器専門医 3 名、日本内分泌学会専門医 2 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、日本腎臓学会腎臓専門医 1 名、日本神経学会神経内科専門医 1 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名、日本救急医学会救急科専門医 4 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 5,894 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 170 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	研修手帳（疾患群項目表）にある 7 領域、25 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会教育関連病院、消化器病学会専門医研修施設、循環器病学会専門医研修施設、肝臓病学会認定施設、消化器内視鏡学会指導施設、内分泌代謝学会専門医研修施設、糖尿病学会教育施設、神経学会専門医準教育施設

6. 大垣徳洲会病院

認定基準	・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。
------	----------------------------

【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、更衣室、シャワー室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2014年度実績 医療倫理2回、医療安全2回、感染対策2回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、血液、膠原病、感染症を除く、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、アレルギーおよび救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表はありません。（2014年度実績 0 演題）
指導責任者	安藤 みゆき
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 4 名、日本内科学会総合内科専門医 1 名、日本消化器病学会消化器専門医 1 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名、日本内分泌学会専門医 1 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、日本リウマチ学会リウマチ専門医 1 名、日本肝臓病学会専門医 1 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 2,041 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 385 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	研修手帳 (疾患群項目表) にある 4 領域、30 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器学会胃腸科指導施設

7. 下呂温泉病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2014年度実績 医療倫理1回、医療安全2回、感染対策1回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2014年度実績1回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会での学会発表はありません。（2014年度実績 0 演題）
指導責任者	大平 敏樹
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 2 名、日本内科学会総合内科専門医 2 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 2,241 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 89 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定教育関連病院、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設

8. 長良医療センター

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 6 回、感染対策 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 1 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 11 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、腎臓、血液を除く、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、呼吸器、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 1 演題）をしています。
指導責任者	松野 祥彦
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 5 名、日本内科学会総合内科専門医、3 名日本消化器病学会消化器専門医 1 名、日本循環器学会循環器専門医 2 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 3 名、日本感染症学会専門医 1 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 323 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 87 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	研修手帳 (疾患群項目表) にある 3 領域、22 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本感染症学会認定研修施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

9. 中濃厚生病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が院外に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 1 回、感染対策 1 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 1 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 7 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。

認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表 (2014 年度実績 4 演題) をしています。
指導責任者	香田 雅彦
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 17 名, 日本内科学会総合内科専門医 9 名, 日本消化器病学会消化器専門医 6 名, 日本循環器学会循環器専門医 5 名, 日本内分泌学会専門医 1 名, 日本糖尿病学会専門医 2 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 4 名, 日本血液学会血液専門医 1 名, 日本神経学会神経内科専門医 1 名, 日本肝臓病学会専門医 3 名, 日本救急医学会救急科専門医 2 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 937 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 265 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて, 研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域, 65 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	・日本内科学会認定医制度教育関連病院, 日本消化器病学会認定施設, 日本呼吸器学会認定施設, 日本循環器学会認定循環器専門研修施設, 日本血液学会認定血液研修施設, 日本糖尿病学会認定教育施設, 日本腎臓学会研修施設, 日本透析医学会専門医制度認定施設, 日本リウマチ学会教育施設, 日本消化器内視鏡病学会指導施設, 日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設, 日本臨床腫瘍学会認定研修施設, 日本がん治療認定医機構認定研修施設, 日本超音波医学会専門医研修施設, 日本救急医学会救急科専門医認定施設, 日本感染症学会認定研修施設

10. 河村病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように, 休憩室, 更衣室, 仮眠室, シャワー室, 当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して, 施設内で研修する専攻医の研修を管理し, 基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催 (2014 年度実績 医療倫理 1 回, 医療安全 3 回, 感染対策 2 回) し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催 (2014 年度実績 11 回) し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス (2014 年度実績 2 回) を定期的開催し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野の総合内科, 消化器, 循環器, 内分泌, 代謝, 腎臓, 呼吸器, 血液, 神経, アレルギー, 膠原病, 感染症および救急の全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表 (2014 年度実績 2 演題) をしています。
指導責任者	橋本 恭成
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 4 名, 日本内科学会総合内科専門医, 2 名, 日本神経学会神経内科専門医 3 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 185 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 67 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて, 研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域, 64 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会教育施設, 日本神経学会教育施設, 日本認知症学会専門医教育施設

11. 美濃病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 2 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 18 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 12 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、血液を除く、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 2 演題）をしています。
指導責任者	伊藤 勇
指導医数 (常勤医)	日本内科学会総合内科専門医 2 名、日本消化器病学会消化器専門医 2 名、日本糖尿病学会専門医 2 名、日本老年医学会専門医 1 名、ほか
外来・入院患者数	外来患者 153 名（1 ヶ月平均） 入院患者 6,000 名（1 ヶ月平均延数）
経験できる疾患群	研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域、13 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本消化器病学会専門医制度関連施設、日本消化器内視鏡学会指導施設、日本老年医学会認定施設日本糖尿病学会教育関連施設

12. 愛知医科大学附属病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催（2014 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催（2014 年度実績 3 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（2014 年度実績 30 回）を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科を除く、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2014 年度実績 10 演題）をしています。

指導責任者	勝野 敬之
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 68 名, 日本内科学会総合内科専門医 29 名, 日本消化器病学会消化器専門医 21 名, 日本循環器学会循環器専門医 21 名, 日本内分泌学会専門医 4 名, 日本糖尿病学会専門医 6 名, 日本腎臓学会腎臓専門医 13 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 7 名, 日本血液学会血液専門医 14 名, 日本神経学会神経内科専門医 9 名, 日本アレルギー学会専門医 (内科) 8 名, 日本リウマチ学会リウマチ専門医 7 名, 日本感染症学会専門医 4 名, 日本肝臓病学会専門医 10 名, 日本救急医学会救急科専門医 8 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 1,257 名 (1ヶ月平均) 入院患者 716 名 (1ヶ月平均延数)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて, 研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域, 70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定医制度教育病院, 日本消化器病学会認定施設, 日本呼吸器学会認定施設, 日本糖尿病学会認定教育施設, 日本腎臓学会研修施設, 日本アレルギー学会認定教育施設, 日本消化器内視鏡学会認定指導施設, 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設, 日本老年医学会認定施設, 日本肝臓学会認定施設, 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設, 日本透析医学会認定医制度認定施設, 日本血液学会認定研修施設, 日本大腸肛門病学会専門医修練施設, 日本内分泌甲状腺外科学会認定医専門医施設, 日本神経学会専門医制度認定教育施設, 日本脳卒中学会認定研修教育病院, 日本呼吸器内視鏡学会認定施設, 日本神経学会専門医研修施設, 日本内科学会認定専門医研修施設, 日本老年医学会教育研修施設, 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設, 日本東洋医学会研修施設, ICD/両室ペーシング植え込み認定施設, 日本臨床腫瘍学会認定研修施設, 日本感染症学会認定研修施設, 日本がん治療認定医機構認定研修施設, 日本高血圧学会高血圧専門医認定施設, ステンントグラフト実施施設, 日本緩和医療学会専門医認定制度認定研修施設, 日本認知症学会教育施設, 日本心血管インターベンション治療学会研修施設

13. 国立研究開発法人 NCGM病院 (国立国際医療研究センター病院)

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・国立研究開発法人非常勤医師として労務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署 (人事部労務管理室長担当) があります。 「セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規程」が定められており, ハラスメント防止対策委員会も院内に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように'休憩室' 更衣室' 仮眠室' 当直室などが整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり, 利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科学会指導医は 58 名在籍しています (下記)。 ・内科専門研修プログラム管理委員会 (統括責任者 (診療科長), プログラム管理者 (診療医長) (ともに総合内科専門医かつ指導医); 専門医研修プログラム・ワーキンググループから 2017 年度中に移行予定) にて, 基幹施設, 連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。 ・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会 (2017 年度中に設置予定) と医療教育部 (2016 年度現在設置済) を設置します。 ・医療倫理・医療安・感染対策講習会を定期的開催 (2015 年度実績 6 回) し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンス (内科・総合診療科・救急) を定期的に主催 (2018 年度予定) し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催 (2015 年度実績 8 回) し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス (糖尿病週間・世界糖尿病デー-市民公開講座, 新宿区練馬区合同消化器カンファレンス, 城西循環器研究会, 若松河田呼吸器研究会, 吸入指導勉強会など; 2015 年度実績 21 回) を定期的に開催し, 専攻医に受講を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講 (2015 年度・2016 年度ともに開催実績 1 回ずつ; 受講者 6 名ずつ) を義務付け, そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センター (予定) が対応します。
認定基準	・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野で定期的に専門研修が可能な症例数

【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	を診療しています(上記). ・70 疾患群のうちほぼ全疾患群(少なくとも 35 以上の疾患群)について研修できます(上記). ・専門研修に必要な剖検(2015 年 40 体, 2014 年実績 40 体)を行っています.
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	・臨床研究に必要な図書室, 写真室などを整備しています. ・倫理委員会を設置し, 定期的に開催(2015 年度実績 16 回)しています. ・治験管理室を設置し, 定期的に受託研究審査会を開催(2015 年度実績 12 回)しています. ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会発表(2015 年度実績 5 演題)をしています.
指導責任者	放生 雅章
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指遵医 58 名, 日本内科学会総合内科専門医 23 名, 日本消化器病学会専門医 16 名, 日本肝臓学会専門医 5 名, 日本循環器学会専門医 6 名, 日本内分泌学会専門医 7 名, 日本糖尿病学会専門医 6 名, 日本腎臓学会専門医 2 名, 日本呼吸器学会専門医 9 名, 日本血液学会専門医 6 名, 日本神経学会専門医 4 名, 日本アレルギー学会専門医 3 名, 日本リウマチ学会専門医 5 名, 日本感染症学会専門医 10 名, 日本老年医学会専門医 0 名, 日本救急医学会専門医 6 名
外来・入院患者数	内科外来患者 19,152 名(1 ヶ月平均) 内科入院患者 783 名(1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて, 研修手帳(疾患群項目表)にある 13 分野, 70 疾患群の症例を幅広く経験することができます.
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を, 実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます.
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定医制度教育病院、日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本血液学会認定研修施設、日本神経学会教育認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本リウマチ学会教育施設、日本感染症学会認定研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設(日本内科学会が定める 13 領域のうち、日本老年医学会を除く 12 学会の教育施設認定を受けています)、日本輸血学会認定医制度指定施設、日本透析医学会専門医制度認定施設、骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄採取・移植認定施設、日本静脈経腸栄養学会実地修練認定教育施設、日本消化器内視鏡学会認定専門医制度認定指導施設、日本超音波医学会認定超音波専門医研修指定施設、日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設、日本リハビリテーション医学会認定研修施設、日本集中治療医学会認定専門医研修施設、日本ペインクリニック学会認定医資格指定研修施設、日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設、日本栄養療法推進協議会 N S T 稼働認定施設、日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼働施設認定、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設認定、日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設、日本高血圧学会専門医認定施設 など

14. 木沢記念病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・社会医療法人厚生会 後期研修医として労務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理センター)があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー、当直室が整備されています。 ・院内保育所があり、利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・指導医は 13 名在籍しています(下記参照)。 ・内科専門研修プログラム管理委員会にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。内科専門研修プログラム管理委員会は、プログラム統括責任者(糖尿病センター長・内科部長、総合内科専門医かつ指導医)、内科 Subspecialty 分野の研修指導責任者(診療科代表)、連携施設担当委員、及び事務局代表者で構成されます。 ・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センターを設置しています。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行う(2019 年実績 24 回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。

	<ul style="list-style-type: none"> ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2019年実績7回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型の研修会・カンファレンス（基幹施設：がん診療研修会、地域医療従事者研修会、中濃医学セミナー、地域連携パス研修会、可茂循環器セミナー、糖尿病オープン教室、中濃地区消化器カンファレンス：2018年実績40回）を定期的に開催し、専攻医に受講を推奨し、そのための時間的余裕を与えます。 ・プログラムに所属する全専攻医にJMECC受講（2019年開催1回）を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査の際には、臨床研修センターが対応します。
<p>認定基準 【整備基準23/31】 3) 診療経験の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、消化器内科、循環器内科、内分泌代謝内科、腎臓内科で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。 ・70疾患群のうちほぼ全疾患群について研修できます。 ・専門研修に必要な剖検（2019年8体、2018年7体、2017年7体）を行っています。
<p>認定基準 【整備基準23】 4) 学術活動の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究に必要な図書室などを整備しています。 ・倫理委員会を設置し、不定期に開催（2019年実績16回）しています。 ・治験管理室を設置し、不定期に受託研究審査会を開催（2019年実績16回）しています。 ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計3演題以上の学会発表（2017年実績7演題）をしています。
指導責任者	<p>高見和久</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>本沢記念病院は、岐阜県中濃医療圏の中心的な急性期病院であり、中濃医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。極ありふれたCommon diseaseから学会報告しうる稀で貴重な症例にいたるまで幅広く経験でき、無理なく専攻医として必修とされる症例を主担当医として受け持つことができます。</p> <p>また多職種のスタッフが一丸となって専攻医のために研修をサポートする体制が備わっており、夢中で過ごした初期研修のあと、じっくりと内科学の研鑽、習熟するに最適な環境のもと内科専門医を目指して下さい。</p>
指導医数 (常勤医)	<p>日本内科学会指導医13名、日本内科学会総合内科専門医9名 日本消化器病学会消化器専門医6名、日本循環器学会循環器専門医6名、 日本糖尿病学会糖尿病専門医2名、日本腎臓学会腎臓専門医3名 日本救急医学会救急科専門医4名 他</p>
外来・入院患者数	<p>外来患者：23,840名（1ヶ月平均） 入院患者13,708名（1ヶ月平均）</p>
経験できる疾患群	<p>きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳（疾患群項目表）にある13領域の内、概ね60疾患群の症例を幅広く経験することができます。</p>
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	<p>技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携、福祉連携なども経験できます。</p>
学会認定施設 (内科系)	<p>日本内科学会 認定医教育関連施設 日本循環器科学会 循環器専門医研修施設 日本心血管インターベンション治療学会研修施設 日本糖尿病学会 認定教育施設 日本消化器病学会 専門医制度認定施設 日本腎臓学会 研修施設 日本透析医学会 専門医制度認定施設 日本消化器内視鏡学会 指定施設 日本がん治療認定医機構 認定研修施設 日本臨床細胞学会 施設認定 日本肝臓学会 認定施設 日本プライマリ・ケア連合学会 認定新家庭医療後期研修プログラム 日本病理学会 研修登録施設 日本救急医学会 救急専門医指定施設 など</p>

15. 多治見市民病院

<p>認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要なインターネットの環境が整備されています。 ・適切な労務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに対処する部署（総務課）があります。 ・ハラスメントに対しても適切に対処します。（総務課） ・女性専攻医が安心して勤務できる休憩室や更衣室、男女別のシャワー室等が完備されています。 ・敷地内に保育所があり利用可能となっています。
<p>認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合内科専門医が 6 名在籍しています。 ・内科指導医が 9 名在籍しています。 ・内科専門研修プログラム管理部にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会（部会）との連携を図ります。 ・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修部会と内科専門研修プログラム管理委員会を設置します。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2019 年度実績 3 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催（2018 年度予定）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2019 年度実績 3 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（市民公開講座；2019 年度実績 10 回）を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・プログラムに所属する全専攻医に JMECC 受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査に内科専門研修プログラム管理委員会が対応します。 ・毎週水曜日 内科総合カンファレンス実施します。
<p>認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境</p>	<p>カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち消化器分野、循環器分野、腎臓分野、リウマチ膠原病分野、呼吸器・アレルギー分野、内分泌・糖尿病分野では専門研修が可能な症例数を診療しています。</p>
<p>認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 3 演題以上の学会 発表（2019 年度実績 初期研修医優秀賞受賞）をします。 ・2019 年度実績 初期研修医優秀賞受賞しています。 <p>日本内科学会認定 JMECC インストラクターコース</p>
<p>指導責任者</p>	<p>氏名：今井裕一</p> <p>【専攻医へのメッセージ】</p> <p>当院の特徴は、週 1 回内科医師、救急総合診療部、看護師・薬剤師・検査技師を含めた内科総合カンファレンスを行なっていることです。肺炎・尿路感染症・敗血症から各診療科の稀な疾患まで幅広く症例呈示があり、意見交換しています。胸部・腹部 CT の読み方、心電図・心カテの所見の見方、消化管内視鏡治療の最前線まで学修できます。さらに電解質異常や内分泌疾患の発見のこつなども教わります。common disease の治療の総合内科医としてどの分野の医師であっても行なうことができるようなシステムにしています。将来どのようなサブスペシャリティーを専攻しても、内科医としての基本を充分修得できるシステムです。1 年 6 か月で日本内科学会の提示する基準を達成できるようにします。さらに、担当医として診療にあたり、医学的面だけではなく、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医に成長します。</p>
<p>指導医数 (常勤医)</p>	<p>日本内科学会指導医 9 名 日本内科学会認定内科医 10 名 日本内科学会総合内科専門医 6 名 日本消化器病学会消化器専門医 2 名 日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医 2 名 日本ヘリコバクター学会ピロリ菌感染症認定医 1 名 日本循環器学会循環器指導医 1 名 日本循環器学会循環器専門医 3 名 日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 認定医 2 名 日本腎臓学会指導医 2 名 日本腎臓学会専門医 3 名 日本リウマチ学会指導医 2 名</p>

	日本リウマチ学会専門医 3名 日本糖尿病学会糖尿病専門医 1名 日本糖尿病協会療養指導医 1名 日本甲状腺学会甲状腺専門医 1名 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医 1名 日本内分泌学会内分泌代謝科指導医 1名 日本呼吸器学会呼吸器指導医 1名 日本呼吸器学会呼吸器専門医 1名 日本呼吸器学会内視鏡気管支鏡指導医 1名 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 1名 日本アレルギー学会アレルギー専門医 1名 日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医 1名 日本骨粗鬆症学会認定医 1名
外来・入院患者数	外来患者数 (1ヶ月平均) : 12,408名 入院患者数 (1ヶ月平均) : 6,014名
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域、70 疾患群の症例を幅広く経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
経験できる地域医療・診療連携	地域における 2 次救急医療を経験できます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会 認定医教育関連施設 日本消化器内視鏡学会 指導連携施設 日本循環器科学会 循環器専門医研修関連施設 日本腎臓学会 研修施設 日本リウマチ学会 教育施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設など

16. 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催 (2018 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 12 回、感染対策 12 回) し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的開催 (2018 年度実績 12 回) し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス (2018 年度実績 2 回) を定期的開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科を除く、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表 (2018 年度実績なし) をしています。
指導責任者	前田 晃男
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 1 名、日本内科学会総合内科専門医 3 名、日本消化器病学会消化器専門医 2 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名、日本アレルギー学会専門医 (内科) 1 名 ほか

外来・入院患者数	外来患者 8,591 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 5,601 名 (1 ヶ月平均延数)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。
学会認定施設 (内科系)	日本消化器病学会認定施設、日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設

17. 郡上市民病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署があります。 ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医は 2 名在籍しています。 ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催 (2015 年度実績 医療倫理 1 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回) し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンス (2017 年度予定) を定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、総合内科、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急のほぼ全ての分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表 (2015 年度実績 0 演題) をしています。
指導責任者	<p>松野康成</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>郡上市民病院は、山紫水明の町である郡上市八幡町内に位置し、東海北陸自動車道郡上八幡インターから車で約 1 分の所にあります。郡上市は、高山市に次いで広大な面積を有し、当院はその中核病院としての役割を担い、プライマリ・ケアを含めて多種の疾患の患者様を診させていただいています。自然あふれる環境の中での研修を体験してみませんか。</p>
指導医数 (常勤医)	日本内科学会総合内科専門医 2 名、日本循環器学会循環器専門医 1 名、日本腎臓病学会専門医 5 名、ほか
外来・入院患者数	外来患者 2,258 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 977 名 (1 ヶ月平均延数)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。
学会認定施設 (内科系)	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設など

18. 松波総合病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要な図書とインターネット環境があります。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署 (健康管理室) があります。 ・女性医師専攻医が安心して勤務出来るように、休憩室、当直室が完備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、24 時間利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医が 29 名在籍しています。 ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理、医療安全・感染対策講習会を定期的に開催。

	<p>(2019 年度実績 医療倫理 2 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回)</p> <p>各専攻医に受講を義務付け、そのための余裕を与えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CPC を定期的に開催 (2019 年度実績 12 回) し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
<p>認定基準</p> <p>【整備基準 23/31】</p> <p>3) 診療経験の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち全分野 (少なくとも 7 分野以上) で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。 ・70 疾患群のうちほぼ全疾患群 (少なくとも 35 以上の疾患群) について研修できます。 ・専門研修に必要な剖検 (2017 年度実績 30 体、2016 年度実績 42 体) を行っています。
<p>認定基準</p> <p>【整備基準 23】</p> <p>4) 学術活動の環境</p>	<p>日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計 1 演題以上の学会発表 (2019 年度実績 5 演題) をしています。</p>
<p>指導責任者</p>	<p>山田 梨絵</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>松波総合病院は、岐阜医療圏に位置して地域中核病院として急性期から慢性期までの基礎的、専門的医療を学べます。主治医として入院から退院まで経時的に診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践出来る内科専門医になります。</p>
<p>指導医数</p> <p>(常勤医)</p>	<p>日本内科学会指導医 28 名</p> <p>日本内科学会総合内科専門医 27 名</p> <p>日本消化器病学会消化器専門医 9 名</p> <p>日本循環器学会循環器専門医 6 名</p> <p>日本呼吸器学会呼吸器専門医 2 名</p> <p>日本内分泌学会内分泌専門医 6 名</p> <p>日本糖尿病学会専門医 6 名</p> <p>日本透析医学会透析専門医 1 名</p> <p>他</p>
<p>外来・入院患者数</p>	<p>外来患者 11,764 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 13,740 名 (1 ヶ月平均)</p>
<p>経験できる疾患群</p>	<p>13 領域のうち、地域中核病院として 12 領域 65 疾患群の症例を経験することができます。</p>
<p>経験できる技術・技能・地域医療・診療連携</p>	<p>技術。技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を実際の症例に基づきながら幅広く学ぶことが出来ます。</p> <p>急性期医療だけではなく、超高齢化社会に対応したがん患者の診断、緩和ケア、終末期医療などを通じて、地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験出来ます</p>
<p>学会認定施設</p> <p>(内科系)</p>	<p>日本内科学会認定医制度教育病院</p> <p>日本循環器学会認定循環器専門医研修施設</p> <p>日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設</p> <p>日本超音波学会認定超音波専門医研修施設</p> <p>日本消化器内視鏡学会指導医施設</p> <p>日本消化器病学会専門医</p> <p>日本糖尿病学会認定教育施設</p> <p>日本内分泌代謝学会内分泌代謝科認定教育施設</p> <p>日本呼吸器学会認定施設</p> <p>日本高血圧学会専門医認定施設</p> <p>日本透析医学会教育関連施設</p> <p>日本がん治療認定医機構認定研修施設</p> <p>日本膵臓学会専門研修認定施設</p> <p>日本腎臓学会専門研修認定施設</p> <p>日本血液学会専門研修認定施設</p> <p>日本アレルギー学会 アレルギー専門医準教育研修施設</p> <p>など</p>

19. 揖斐厚生病院

<p>認定基準</p> <p>【整備基準 23】</p> <p>1) 専攻医の環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に必要な図書・インターネット環境を整備しています。 ・揖斐厚生病院医師として、就業環境等が保障されます。 ・メンタルヘルス並びにコンプライアンスに適切に対応する部署 (企画総務課) があります。 ・監査室が岐阜県厚生連本所に設置されています。 ・女性専攻医が安心して勤務出来るように、休憩室・更衣室・当直室が完備されています。
---	--

	す。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> 内科指導医は7名在籍しています。 研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 医療安全並びに感染対策研修会を定期的に開催（半期に一度）し、専攻医に受講を義務付けます。 定期的なカンファレンスに参画し、専攻医に受講を義務付けます。 CPC の開催時に、専攻医の受講を義務付けます。 定期的な地域との症例検討会等へ、専攻医に参加を義務付けます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	内科領域 13 分野すべてを経験できますが、そのうちアレルギー、膠原病等一部の分野を除き、専門研修が可能な症例数を診療します。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会において、年間で1演題以上の学会発表を行います。
指導責任者	水草 貴久 【内科専攻医へのメッセージ】 揖斐厚生病院は西濃医療圏に位置し、西濃北部地域の中核病院として急性期・回復期並びに慢性期までの基礎的、専門的な医療を学べます。主治医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）までの診断・治療の流れを通じ、社会的背景・療養環境調整をも包括する医療を実践出来る内科専門医になります。
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 4 名, 日本内科学会総合内科専門医 4 名, 日本消化器病学会消化器専門医 2 名, 日本循環器学会循環器専門医 3 名, 日本肝臓病学会専門医 1 名
外来・入院患者数	外来患者 8,871.4 名(1ヶ月平均) 入院患者 5,222.3 名(1ヶ月平均)
経験できる疾患群	13 領域のうち、11 領域の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	<ul style="list-style-type: none"> 内科専門医として必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く行います。 急性期医療に留まらず、がん患者の診断・治療、緩和ケア、終末期医療などを通じ、地域に根ざした医療や病診連携・病病連携等が経験出来ます。
学会認定施設 (内科系)	<ul style="list-style-type: none"> 日本内科学会認定医教育関連病院 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 日本消化器内視鏡学会指導連携施設

20. 岐北厚生病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	研修に必要な研修室、図書室、インターネット環境を有します。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	総合内科専門医が5名在籍しています。 内科専門研修プログラム管理部にて基幹施設（市民病院）との連携を図ります。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	内科領域 13 分野のうち主に6分野において重点的に深い研修ができます。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	臨床研究と必要な図書室を有します。積極的な学会、研究会への参加を奨励しています。
指導責任者	早川 和良
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 7 名, 日本内科学会総合内科専門医 5 名, 日本消化器病学会消化器病専門医 5 名, 日本循環器学会循環器専門医 1 名, 日本腎臓学会腎臓専門医 1 名, 日本呼吸器学会呼吸器専門医 1 名, 日本肝臓学会肝臓専門医 3 名, 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医 4 名
外来・入院患者数	外来 5,758 人(1か月平均) 入院 4,850 人(1か月平均)
経験できる疾患群	13 領域のうち、6 分野について特に重点的に研修できます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	内科専門医に必要な技術・技能を実際の症例を経験しながら修得できます。 急性期医療に加え、地域社会に根づいた超高齢社会に対応した診療、病診連携、病病連携を経験できます。
学会認定施設	日本消化器病学会認定施設

(内科系)	日本消化器内視鏡学会認定指導施設 日本肝臓学会関連施設 日本胆道学会認定指導医制度指導施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設 日本透析医学会教育関連施設
-------	---

21. 大垣市民病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・大垣市民病院正規職員として勤務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署（精神神経科医師）があります。 ・ハラスメント委員会が大垣市役所に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医は 19 名在籍しています。 ・内科専門研修プログラム管理委員会（統括責任者（副院長）、プログラム管理者（診療部長）（ともに日本内科学会指導医））にて、基幹施設、連携施設に設置されている研修委員会との連携を図ります。 ・基幹施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修委員会と臨床研修センターを設置します。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に開催（2019 年度実績医療倫理 2 回、医療安全 2 回、感染対策 2 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に主催（2021 年度予定）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・CPC を定期的に開催（2019 年度実績 6 回）し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・地域参加型のカンファレンス（病院連携カンファレンス 2019 年度実績 4 回など）を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査に臨床研修センターが対応します。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域 13 分野の全分野で定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています。 ・70 疾患群の全疾患群について研修できます。 ・専門研修に必要な剖検（2018 年 12 体・2019 年 4 体・2020 年 6 体）を行っています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研究に必要な図書室、写真室などを整備しています。 ・倫理委員会を設置し、定期的に開催（2019 年度実績 6 回）しています。 ・治験管理センターを設置し、定期的に治験審査委員会を開催（2019 年度実績 12 回）しています。 ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間 3 演題以上の学会発表を予定しています。
指導責任者	傍島裕司 【内科専攻医へのメッセージ】 大垣市民病院は岐阜県西濃地区（対象人口約 38 万人）の最大の中核病院です。内科は各専門科に分化されていますが、いずれの科においても症例数は東海地区では最大級で、内科の専門研修で症例の収集に困ることはありません。救急医療も盛んで一次から三次まで数多くの救急患者を扱っています。また、当院の特徴は市中病院でありながらリサーチマインドが盛んであることです。ホームページ（ http://www.ogaki-mh.jp ）を見ていただければわかりますが英文を含めた多くの論文および全国レベルでの発表をしています。各分野で多くの指導医、専門医もそろっており、内科専門医制度で資格を取得するには最適の病院と自負しています。
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 18 名、日本内科学会総合内科専門医 16 名 日本消化器学会消化器専門 7 名、日本循環器学会循環器専門医 7 名、日本糖尿病学会専門医 3 名、日本内分泌学会専門医 1 名、日本腎臓学会専門医 3 名、日本呼吸器学会呼吸器専門医 4 名、日本血液学会血液専門医 3 名、日本神経学会神経内科専門医 2 名、日本アレルギー学会専門医（内科）3 名、日本リウマチ学会専門医 0 名、日本感染症学会専門医 0 名、日本救急医学学会救急科専門医 2 名ほか
外来・入院患者数	外来患者 37978 名（1 ヶ月平均 時間外を含む）、入院患者 17556 名（1 ヶ月平均）
経験できる疾患群	研修手帳（疾患群項目表）にある 13 領域 70 疾患群の症例を幅広く経験することができま

	す。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病々連携なども経験できます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定制度教育病院 日本消化器病学会認定施設 日本呼吸器学会認定施設 日本糖尿病学会認定教育施設 日本腎臓病学会研修施設 日本アレルギー学会認定教育施設 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 日本老年医学会認定施設 日本肝臓学会認定施設 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設 日本透析医学会認定医制度認定施設 日本血液学会認定研修施設 日本大腸肛門病学会専門医修練施設 日本内分泌甲状腺外科学会認定医専門医施設 日本神経学会専門医制度認定教育施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院 日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本神経学会専門医研修施設 日本内科学会認定専門医研修施設 日本老年医学会教育研修施設 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設 日本東洋医学会研修施設 I C D / 両室ペースメーキング植え込み認定施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 日本肥満学会認定肥満症専門病院 日本感染症学会認定研修施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本高血圧学会高血圧専門医認定施設 ステントグラフト実施施設 日本緩和医療学会専門医認定制度認定研修施設 日本認知症学会教育施設 日本心血管インターベンション治療学会研修施設 など

22. 藤田医科大学病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。 研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 シニアレジデントもしくは指導診療医として労務環境が保障されています。 メンタルストレスに適切に対処する部署（健康管理室）があります。 ハラスメント委員会が整備されています。 女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 敷地内に院内保育所があり、病児保育、病後児保育を含め利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	指導医が 54 名在籍しています。（下記） 内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 医療倫理・医療安全・感染対策に関する認定共通講習を開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 研修施設群合同カンファレンスに定期的に参画し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 C P C を定期的に開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。（2019 年度実績 14 回）

	地域参加型のカンファレンスを定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。(2019年度実績20回)
認定基準 【整備基準23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、総合内科を除く、消化器、循環器、内分泌、代謝、腎臓、呼吸器、血液、神経、アレルギー、膠原病、感染症および救急の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表をしています。(2019年度実績25演題)
指導責任者	湯澤 由紀夫 【内科専攻医へのメッセージ】 藤田医科大学病院には13の内科系診療科(救急総合内科、循環器内科、呼吸器内科・アレルギー科、消化器内科Ⅰ、消化器内科Ⅱ、血液内科・化学療法科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、臨床腫瘍科、脳神経内科、認知症・高齢診療科、感染症科)があり、内科領域全般の疾患が網羅できる体制が敷かれています。また、救急疾患は救命救急センター(NCU,CCU,救命ICU,GICU,ER,災害外傷センター)および各診療科のサポートによって管理されており、大学病院、特定機能病院としての専門的高度先進医療から尾張東部医療圏の中核病院としての一般臨床、救急医療まで幅広い症例を経験することが可能です。院内では各科のカンファレンスも充実しており、またキャンサーボードなど多職種合同検討会やアレルギー研究会など科を越えた勉強会検討会も数多く実施しております。
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医 54名 日本内科学会総合内科専門医 55名 日本消化器病学会消化器専門医 33名 日本循環器学会循環器専門医 15名 日本内分泌学会専門医 6名 日本糖尿病学会専門医 8名 日本腎臓病学会専門医 12名 日本呼吸器学会呼吸器専門医 12名 日本血液学会血液専門医 12名 日本神経学会神経内科専門医 6名 日本アレルギー学会専門医(内科) 5名 日本リウマチ学会専門医 13名 日本感染症学会専門医 6名 日本救急医学会救急科専門医 12名
外来・入院患者数	外来患者 3,291.0名(1日平均)、入院患者 1,314.4名(2019年度1日平均延数)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。
学会認定施設 (内科系)	日本内科学会認定制度教育病院 日本リウマチ学会教育施設 日本感染症学会研修施設 日本甲状腺学会認定専門医施設 日本消化器病学会認定施設 日本呼吸器学会認定施設 日本糖尿病学会認定教育施設 日本腎臓学会研修施設 日本アレルギー学会認定教育施設 日本消化器内視鏡学会認定指導施設 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 日本老年医学会認定施設 日本肝臓学会認定施設 日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修施設 日本透析医学会専門医制度認定施設 日本血液学会認定研修施設 日本神経学会専門医制度認定教育施設 日本脳卒中学会認定研修教育病院

	日本呼吸器内視鏡学会認定施設 日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設 ICD/両室ペースメーカー植え込み認定施設 日本臨床腫瘍学会認定研修施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設 日本高血圧学会高血圧専門医認定施設 日本緩和医療学会認定研修施設 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
--	--

23. 下呂市立金山病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	・協力型臨床研修指定病院です。 ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。 ・下呂市正職員または非常勤嘱託員として勤務環境が保障されています。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署(下呂市役所人事課)があります。 ・ハラスメント委員会が下呂市役所に整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、当直室、更衣室、が整備されています。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	・総合内科専門医が2名在籍しています(下記)。 ・内科専門研修プログラム管理部(責任者(副院長)、と内科部長(ともに総合内科専門医かつ指導医)にて、基幹施設に設置されている研修委員会(部会)との連携を図ります。 ・連携施設内において研修する専攻医の研修を管理する内科専門研修部会と内科専門研修プログラム管理委員会を設置します。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的開催(2020年度実績1回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・日本専門医機構による施設実地調査に内科専門研修プログラム管理委員会が対応します。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	・カリキュラムに示す内科領域13分野の内、主に総合内科、内分泌、代謝、救急において定常的に専門研修が可能な症例数を診療しています(上記)。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	・臨床研究に必要な図書室を整備しています。 ・倫理審査委員会を設置し、定期的開催(2020年度実績1回)しています。 ・日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間計1演題以上の学会発表(2019年実績2演題)をしています。
指導責任者	杉山 美香 【内科専攻医へのメッセージ】 下呂市立金山病院病院は、岐阜県飛騨医療圏の最南端に位置し、山間地域における急性期及び回復期を担う病院です。基幹施設の連携施設として内科専門研修を行い、必要に応じた可塑性のある、地域医療にも貢献できる内科専門医を目指します。 主担当医として、入院から退院(初診・入院～退院・通院)まで経時的に、診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医になります。
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医2名、日本内科学会総合内科専門医2名
外来・入院患者数	外来患者4,008名(1ヶ月平均) 入院患者1,783名(1ヶ月平均)
経験できる疾患群	・カリキュラムに示す内科領域13分野の内、主に総合内科、内分泌、代謝、救急。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら経験することができます。 回復期医療を中心に急性期医療や超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。
学会認定施設 (内科系)	なし

3) 専門研修特別連携施設

1. 岐阜清流病院

認定基準	・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。
------	----------------------------

【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント委員会が整備されています。 ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室が整備されています。 ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専門医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に行い、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスを定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、血液を除く、ほぼ全ての分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本内科学会講演会あるいは同地方会等 内科関連学会に年間で計 1 演題以上の学会発表（2020 年度 2 演題）をしています。
指導責任者	越路正敏 【内科専攻医へのメッセージ】 当院は、急性期病棟、回復期病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟を有し、急性期から回復期ならびに慢性期という、一患者の疾患発症から在宅までの一連の診療の研修が可能です。人工透析施設や緩和ケア病棟を有し、特殊な病態の専門的な研修を経験できます。また、コメディカルスタッフとの距離感も近く、チーム医療を研修するにも良い環境です。
指導医数 (常勤医)	日本内科学会総合内科専門医 4 名、日本循環器学会専門医 2 名、日本消化器学会専門医 1 名、日本消化器内視鏡学会指導医/専門医 1 名、日本肝臓学会指導医/専門医 1 名、日本神経学会専門医 1 名、日本救急医学会専門医 1 名 ほか
外来・入院患者数	外来患者 1645 名 (1 ヶ月平均) 入院患者 234 名 (1 ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患や血液疾患を除いて、研修手帳 (疾患群項目表) にある 13 領域、70 疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざす医療、病診・病病連携なども経験できます。

2. 澤田病院

認定基準 【整備基準 23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアレジデントもしくは指導診療医として労務環境が保障されています ・ハラスメントを担当する責任者が選任されています。 ・専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、シャワー室、当直室が整備されています。
認定基準 【整備基準 23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・指導医は 2 名在籍しています。 ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療安全・院内感染防止対策委員会を毎月行い、定期的講習会も開催し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・研修施設群合同カンファレンスに定期的に参加し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。
認定基準 【整備基準 23/31】 3) 診療経験の環境	カリキュラムに示す内科領域 13 分野のうち、循環器、呼吸器、総合内科、腎臓の分野で定期的に専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準 23】 4) 学術活動の環境	日本透析医学会に年間で 2～3 演題の学会発表をしています。
指導責任者	長田紀淳 【内科専攻医へのメッセージ】 当院は、一般、療養病棟に加え約 200 名の透析患者を診療しています。入院患者、外来患者の急性期から慢性期疾患の研修が可能です。
指導医数 (常勤医)	日本循環器学会指導医 1 名、日本呼吸器学会指導医 1 名 日本循環器学会専門医 6 名、日本内科学会総合内科専門医 4 名 ほか

外来・入院患者数	外来患者 5,020名(1ヶ月平均) 入院患者 6,016名(1ヶ月平均)
経験できる疾患群	きわめて稀な疾患を除いて、研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群の症例を経験することができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	技術・技能評価手帳にある内科専門医に必要な技術・技能を、実際の症例に基づきながら幅広く経験することができます。 急性期医療だけでなく、超高齢社会に対応した地域に根ざした医療、病診・病病連携なども経験できます。

3. まつなみ健康増進クリニック

認定基準 【整備基準23】 1) 専攻医の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・初期臨床研修における地域医療研修施設です。 ・研修に必要な図書とインターネット環境が併設の松波総合病院にあります。 ・メンタルストレスに適切に対処する部署(健康管理室)が法人内にあります。 ・女性医師専攻医が安心して勤務出来るように、休憩室、当直室が法人内に完備されています。 ・法人内に院内託児所があり、24時間利用可能です。
認定基準 【整備基準23】 2) 専門研修プログラムの環境	<ul style="list-style-type: none"> ・内科専攻医研修委員会を設置して、施設内で研修する専攻医の研修を管理し、基幹施設に設置されるプログラム管理委員会と連携を図ります。 ・医療倫理・医療安全・感染対策講習会を定期的に法人内で開催(2014年度実績6回)し、専攻医に受講を義務付け、そのための時間的余裕を与えます。 ・基幹施設である松波総合病院で行うCPC(2019年度実績12回)、もしくは日本内科学会が企画するCPCの受講を専攻医に義務付け、その為の時間的余裕を与えています。
認定基準 【整備基準23/31】 3) 診療経験の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムに示す内科領域13分野のうち、総合内科、消化器、呼吸器、循環器、血液、腎臓の分野で専門研修が可能な症例数を診療しています。
認定基準 【整備基準23】 4) 学術活動の環境	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で日本内科学会講演会あるいは同地方会に年間で計1演題以上の学会発表(2019年度実績5演題)をしています。
指導責任者	<p>花立 史香</p> <p>【内科専攻医へのメッセージ】</p> <p>松波総合病院は、岐阜医療圏に位置して地域中核病院として急性期から慢性期までの基礎的、専門的医療を学べます。主治医として入院から退院まで経時的に診断・治療の流れを通じて、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践出来る内科専門医になります。</p>
指導医数 (常勤医)	日本内科学会指導医0名、日本内科学会総合内科専門医0名
外来・入院患者数	外来患者 9,320名(1ヶ月平均)
経験できる疾患群	研修手帳(疾患群項目表)にある13領域、70疾患群の症例については、高齢者・慢性長期療養患者の診療を通じて、広く経験することとなります。 複数の疾患を併せ持つ高齢者の治療・全身管理・今後の療養方針の考え方などについて学ぶことができます。
経験できる技術・技能・地域医療・診療連携	健診・検診後の精査・地域の内科外来としての日常診療・必要時入院診療へ繋ぐ流れ、退院後の外来でのフォロー、患者本人のみならず家族とのコミュニケーションの在り方・かかりつけ医としての診療の在り方。 入院が必要な患者の総合病院との病診連携。地域の内科病院としての外来診療。